

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果(花園中学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	数学	理科
花園中	同等	同等	同等
埼玉県	55	50	2.9
全国	54.3	48.3	2.9

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質 問 事 項	花園中	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食っている	93.1	91.7	91.2
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	83.0	81.7	81.0
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	94.9	92.8	92.6
学習習慣	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	83.7	81.0	77.5
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上、勉強をする(学習塾や家庭教師、ICTを活用して学ぶ時間も含む)	52.1	66.8	61.6
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする	55.5	61.4	57.9
	学校の授業時間以外に、普段1日当たり30分以上、読書をする	20.5	22.1	21.4
教科への関心	国語の勉強は好きだ	48.7	58.5	57.9
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	88.9	89.5	88.3
	算数・数学の勉強は好きだ	73.6	53.5	53.8
	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	92.3	74.3	75.2
	理科の勉強は好きだ	67.5	64.5	63.8
	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	68.4	64.2	63.4
主体的・対話的な学び	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	84.6	83.0	77.7
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	64.1	71.2	63.0
	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	74.4	77.7	70.6
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた	86.3	88.0	84.7
その他	自分には、よいところがあると思う	88.0	88.0	86.2
	将来の夢や目標をもっている	82.0	69.9	67.5
	人の役に立つ人間になりたいと思う	98.3	96.8	96.6
	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	82.9	75.8	75.3

【質問紙分析】

- ・「将来の夢や目標をもち、人の役に立ちたい」と答える生徒が多い傾向は、継続的なキャリア教育の充実に加え、「立志式」において将来について真剣に考え、自らの言葉で語った経験が生徒の意識をさらに高めていると推測される。
- ・「学習習慣」に関する調査では、学習に対する意欲が十分に高まっていない状況が伺える。今後は授業内において「生徒の学びにおいて空白の時間をつくらない工夫」を全校での取組とし、個別最適な学びの充実を一層深めていく。
- ・家庭での学習習慣が十分に身についていない。その課題に対し、定期テスト前にテスト計画表を作成させることで計画的な学習支援を行っていく。この取組を通して、生徒が自ら時間を管理し、主体的に学ぶ姿勢を育てたい。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- 1 二「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」について、書き加えた情報の目的を理解することができている。
- 1 四「自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる」について、ちらしの読み手の感想と、表現の工夫を適切に関係付けて書くことができていない。
- 2 二「相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」について、相手の反応をふまえてした発言の理由を適切に理解することができていない。
- 4 一「読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる」について、漢字の誤りを見つけて修正することができなかった。

【数学】

- 6 (3) 出題の趣旨「連続する三つの3の倍数の和が、9の倍数になることの説明を完成する」式の変形や意味の読み取りなど、理解度が高く、県平均・全国平均よりも正答率が10点以上上回ることができた。
- 3 出題の趣旨「 $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ の大きさが 50° のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める」多角形の外角の意味を理解できていた。
- 5 出題の趣旨「ある学級の生徒40人のハンドボール投げの記録をまとめた度数分布表での相対度数を求める」正答率が全国平均・県平均よりも低かった。求め方を理解してなかった生徒が多かったとみられる。
- 7 (2) 出題の趣旨「Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由について確率を用いて説明する」確率への理解度が低く、説明することに対しても、十分な練習ができていなかったため、正答率が低かった。

【理科】

- 1 (2) 出題の趣旨「身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる」問題点を的確にとらえ、それを解決するために適切な課題を講じることができている。
- 5 (1) 出題の趣旨「加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身についているかをみる」普段の実験で、危機管理能力を養うことができている。
- 1 (4) 出題の趣旨「水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身についているかどうかを見る」呼吸のことを、単純に「酸素を吸って二酸化炭素を吐くこと」と認識している生徒が多く、本質を理解できていないと考えられる。
- 8 (2) 出題の趣旨「大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかを見る」柱状図のデータから、地層がどのように広がっているかを正しく把握できていないこと、その結果を何に関連付ければよいか理解していないことが課題であると考えられる。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・スピーチや話し合い活動の中で、どのようなやりとりがあったかを録音などで振り返り、その発言の意図やその工夫について振り返る学習を行う。
- ・作文の推敲を行う際にペアで相互添削をする時間を設けて、自分自身で間違いに気づく機会をつくるとともに、自分で気づくことができない間違いについても気づかせる活動を行う。

【数学】

- ・「データの活用」に関わる分野の基本的な知識の習得のため、定期的に復習問題を授業の最初に解かせることで、慣れさせ、理解へとつなげていきたい。
- ・「説明する」という部分に難色を示す生徒が多いので、日ごろの授業で、小集団の中での説明の練習をより多く取り入れ、自分の言葉で説明する機会を増やしていきたい。

【理科】

- ・単純に知識を身に着けさせるだけではなく、日常生活のどの部分に活かされているか等、他のことと関連付けて理解させる。
- ・既習事項の確認を細かく行い、知識を関連付けさせたり、新しい単元に活用させたりして、理解を深める。
- ・課題を明確にし、目的をもって実験をさせる。何を調べ、どのようなデータが得られれば良いか、得られたデータをどのように活用すればよいかを考えさせる授業にしていきたい。